

福岡コロナ警報の見直しについて

2021年11月30日(火曜日)発表

11月30日(火曜日)、県民のみなさんや、事業者のみなさんへ協力を願います。県の基準である「福岡コロナ警報」を見直したので、お知らせします。

コロナウイルスの病気が急に広がってしまう前に、必要な対策をするため、これまでよりも早い段階で国へ「まん延防止等重点措置」や「緊急事態措置」を出すことを願います。

※まん延防止等重点措置…緊急事態宣言(みなさんの生活が危ないときに大切なお知らせ)が出ないようにするために、市や町ごとに願います。

※緊急事態措置…緊急事態宣言が出たときに、都道府県ごとに願います。

コロナウイルスの病気が広がっているとき

コロナの病気の
ひろまり

コロナの病気が広がっているとき

基準	福岡コロナ警報を出す目安	福岡コロナ特別警報を出す目安
国のステージ	レベル2くらいになるとき	レベル3くらいになる前
① 新しくコロナになった人の数	7日移動平均(最近7日間でコロナの病気になった人の平均人数)が増え続けている	
② 病院のベッドを使っている人の割合	15%以上 (入院者数:約220人以上)	30%以上 (入院者数:約440人以上)
※気を付けること	<ul style="list-style-type: none"> あたらしくコロナになった人の数(1週間の合計)を今週と先週で比べたときの移り変わり 地域別のコロナの広まり方 	

➤ [完全版はこちら](#)

コロナウイルスの病気の広がりが落ち着くとき

<p>コロナウイルスの病気の広がりが落ち着くとき</p>	<p>コロナウイルスの病気の広がりが落ち着くとき</p>	
<p>主な基準</p>	<p>福岡コロナ警報解除の基準 (まん延防止等重点措置の解除を願うときの基準)</p>	<p>福岡コロナ特別警報解除の基準 (緊急事態措置の解除を願うときの基準)</p>
<p>国がステージを決める基準</p>	<p>レベル1 くらいになった後</p>	<p>レベル2 くらいになった後</p>
<p>① 新しくコロナになった人の数</p>	<p>7日移動平均(最近7日間でコロナの病気になる人の平均人数)が減り続けている。</p>	
<p>② 病院のベッドを使っている割合</p>	<p>20% より少ない (入院している人の数:およそ290人より少ない)</p>	<p>50% と同じか、それより少ない (入院している人の数:740人と同じくらいかそれより少ない)</p>
<p>※気をつけること</p>	<p>・新しくコロナになった人の数(1週間の合計)を今週と先週で比べた時の移り変わり ・地域別のコロナの広まり方 ・コロナの病気が重たい人がベッドを使っている割合の移り変わり ・新しく変化したコロナの動き</p>	<p>・新しくコロナになった人の数(1週間の合計)を今週と先週で比べた時の移り変わり ・コロナの病気が重たい人がベッドを使っている割合の移り変わり ・新しく変化したコロナの動き ＜緊急事態措置を解除するときの考え方(令和3年9月8日に国が発表)にあわせたもの＞ ・入院する人の割合が少なくなっていること ・コロナの病気が重たい人の数が減り続けていること ・中等症者(コロナの病気が悪くはない)の数が減り続けていること。 ・自宅で療養している人の数と療養などの調整をしている人の数の合計が減り続けていること</p>

- ※ 「①～②の基準」と「気をつけること」などをよく確認して、市町村や専門家の意見も参考にして総合的に判断し、病院のベッドを使っている割合が50% と同じかそれより少なく(20% より少ない) なることが見込まれたら、国と緊急事態措置(まん延防止等重点措置)の取扱いについて話し合いを行う。
- ※ 緊急事態措置(まん延防止等重点措置)または県が示している基準による措置の解除と同時に「福岡コロナ特別警報」「福岡コロナ警報」を解除する。

➤ [拡大版はこちら](#)

国の基準と県の対応との関係について

くに かんせん じょうきょう 国が決めた感染の状況	ふくおかけん 福岡県がすること	びょういん の ベッドを 使っている割合
Level 4 (この状態になってはいけない)	<ul style="list-style-type: none"> 災害が起きたときと同じように対応する。 してはいけないことを増やす。 新しくコロナウイルスの病気になる人が減らずに、病院の数が足りなくなつたとき 	—
Level 3 (もっと強く対応する)	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態措置を始める。 感染投与ステーション(注1)を開くかどうかを考える。 新しくコロナウイルスの病気になる人が増え続けているとき(注2) 「準備したベッドの数が3週間後にいっぱいになるとき」か、「病院のベッドが使われている割合が50%よりも多くなったとき(約740人/1,482ベッド)」か、「コロナウイルスの病気が重たい人がベッドを使っている割合が50%よりも多くなったとき(約100人/203ベッド)」 	50%以上
Level 2 (もっと注意する)	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡コロナ特別警報」を始める。 緊急事態措置を始めるかどうかを、国と相談し、お願いする。 新しくコロナウイルスの病気になる人が増え続けているとき(注2) 病院のベッドが使われている割合が30%以上(約440人/1,482ベッド) 	30%以上
	<ul style="list-style-type: none"> まん延防止等重点措置を始める。 新しくコロナウイルスの病気になる人が増え続けているとき(注2) 病院のベッドが使われている割合が20%以上(約290人/1,482ベッド) 	20%以上
	<ul style="list-style-type: none"> 「福岡コロナ警報」を始める。福岡県は、コロナウイルスの病気が広がらないよう、必要なことを始める。 まん延防止等重点措置を始めるかどうかを、国と相談し、お願いする。 コロナウイルスの病気になった人にどのような手当をするかをまた考える。コロナウイルスの病気になった人が増えたときに、保健所がたくさん仕事をすることができるよう、準備する。 新しくコロナウイルスの病気になる人が増え続けているとき(注2) 病院のベッドが使われている割合が15%以上(約220人/1,482ベッド) 	15%以上
Level 1 (感染をこの状態までに抑えたい)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な対策を続ける(注3) 	15%より少ない
Level 0 (新しくコロナウイルスの病気になる人がいない)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な対策を続ける(注3) 	—

(注1) 感染投与ステーション：コロナウイルスの病気になった人に感染を与えるための施設
 (注2) コロナウイルスの病気になった人が増え続けているかどうかは、7日移動平均によって決めます。
 7日移動平均 = (最近の7日間で新しくコロナウイルスの病気になった人の数) / 7
 (注3) 基本的な対策：3つの密を避けること、マスクを着けること、しっかり手を洗うことなど

➤ [拡大版はこちら](#)

上の表は、次のことについて説明しています。

- ・「福岡コロナ警報」や「福岡コロナ特別警報」がいつ始まり、いつ終わるのか。
- ・福岡県は、どのように対応するのか。
- ・国は、コロナウイルスの病気の広がりの状況をどのように考えるのか。

そして、国は、コロナウイルスの病気の広がりの状況を、次の5つに分けました。

- レベル0・・・新たにコロナウイルスの病気になる人がいない状態が続くこと。
- レベル1・・・コロナウイルスの病気になった人に、十分な手当をする用意ができていて、そして、ふつうの病気やけがも手当をする用意ができていて。

レベル2… コロナウイルスの病気になる人が増えていること。しかし、
 コロナウイルスの病気を手当てすることができる病院を少しずつ
 増やして、必要な手当てをすることができること。

レベル3… ふうつの病気やけがを手当てすることを減らさなければ、
 コロナウイルスの病気になる人を手当てがすることが難しいこ
 と。

レベル4… ふうつの病気やけがを手当てすることをかなり減らしても、
 コロナウイルスの病気になる人を手当てすることができないこ
 と。

- レベル0とレベル1の状態のときは、コロナウイルスの病気が広がらないよう
 に、基本的な対策※をしっかりと行います。
- レベル2の状態と認められたら、「福岡コロナ警報」が始まります。そして、
 福岡県は、コロナウイルスの病気が広がらないために、必要なことをします。
- レベル3の状態と認められたら、福岡県は緊急事態措置を始めます。
- レベル4の状態は、絶対に避けなければいけません。

※ 基本的な対策：3つの密を避けること、マスクを着けること、しっかりと手を
 洗うことなど

今後、コロナウイルスの病気が広がった時にお願いすること

ころなういるす びょうき ひろが ねが
 コロナウイルスの 病気が 広がっているときの お願い

レベル分類	Level 2	Level 3	Level 4	
おも 主な ねが お願いなど	福岡コロナ警報	福岡コロナ特別警報		
	福岡県だけが お願いしていること	まん延防止等重点措置 (または 福岡県だけが お願いしていることの 強化)	緊急事態措置	
けんみん 県民の ねが みなさんへの お願い	・「三つの密」を避ける、マスクをつける、手洗い・消毒 など、コロナウイルスの 病気が 広がらないような 基本的な 工夫をする ・ウチナシ接種が 終わっていない人や 陰性の 証明が できない場合、県外への 移動を 控える ・無症状でも コロナウイルスの 病気になる 不安があるときは、PCRなどの 検査を 受ける ・欠が 多いところや コロナウイルスの 病気になる 可能性があるところへは 行かないよ うにする			
じぎょうしゃ 事業者 の みな さんへの ねが お願い	いんしょうてん 認証店	・お店を 開ける 時間を 短くする お願 いは なし※ ・お客さんにお酒を 出すことが できる ・同じ席で 食事を するのは 4人以下	・お店を 開ける 時間を 短くする お願 いは なし※ または お店を 開ける 時間を 21時までに する ・お客さんにお酒を 出すことが できる ・同じ席で 食事を するのは 4人以下	・お店を 開ける 時間を 21時までに する ・お客さんにお酒を 出すことが できる (食事を するのは 4人以下) ・カラオケの 利用は VTPで お店に 入れる 欠を 限る (お店に 入れる 人数の 50% 以下を 入れることが できる)
	いんしょうてん 認証店 以外	・ウチナシ・検査パッケージ制度(VTP)で 同じテーブルでも 同じテーブルでも 5次以上 お店へ 入れることができる	・お店を 開ける 時間を 20時までに する ・お客さんにお酒を 出すことが できる ・同じ席で 食事を するのは 4人以下	・お店を 出す お店や カラオケを 利用す る お店は 休みに する ・お客さんにお酒を 出すことが できない ・お酒を 出さない お店は 開ける 時間を 20時までに する ・同じ席で 食事を するのは 4人以下
				より 厳しい お願 い (例) ・VTPを やめる ・昼間も 外へ 出ることが やめる ・飲食店は 休みに する ・施設を 使うことを やめる ・イベントを やめる ・仕事場へ 行く入を 大きく 減らす

➤ [完全版はコチラから](#)

上の表では、これから、コロナウイルスの 病気が 広がった時に お願いする こと
 について 説明しています。ウチナシを 打った人が 増えているので、全体的に これまで
 お願いしている 内容よりも やさしく なっています。

飲食店について、第三者認証を 受けている お店 (コロナウイルスの 病気を 広
 めないための 対策を しっかり行っていると 県に 認められている お店) では、ま
 ん延防止等重点措置が 決定しても、お店を 開ける 時間を 短くする お願いはしま
 せん。

もし、お願いする場合でも お店を 21時まで 開けることが できます。また、
 緊急事態措置が 決定しても、21時まで お酒を 出すことが できます。さらに、
 「ウチナシ・検査パッケージ制度」により、同じ席で 食事を している人の数に 制限が
 なくなります。

しかし、第三者認証を 受けていない お店では、これまでと おなじように お店を
 開ける時間を 短くする お願いをします。今は、認証を 受けた お店の 数も増え、
 16,000店を 超えています。

まだ 認証をとっていない 飲食店のみなさんは、ぜひ、コロナウイルスの 病気の 広がりが 落ち着いている 今のうちに 認証を取ってください。

たくさんの方が 集まる 施設について、営業時間を 短くする 願いは、(レベル 3までは) 予定していません。イベントを するときは、コロナウイルスの 病気が 広がらないように 計画を作ってもらいます。県が 計画をみて、問題がなければ、会場に 入ることができる 人の数(収容人数)まで お客さんを 入れて、イベントが できます。

コロナウイルスの 病気が 広がることを 防ぐためには、人が たくさん 集まる 所に行かないことや、マスクをつけることなど、コロナウイルスの 病気にならないような 対策を 続けることが 大事です。また、飲食店をはじめ、それぞれの 事業者のみなさんについては、業種(しごとのしゅるい)ごとの 感染防止の ガイドラインを しっかり 守ってください。

医療を 提供するための 用意 について

健康の 状態を みることや 検査などについて、コロナウイルスの 病気に なっていることが 分かった時から、すぐに 健康の 状態を みることや それぞれの病気にあつた 手当ができるように トリアージ基準(病気の 状態をみて 手当の 方法や 順番を 決めるもの)や その 切り替えのための タイミングについて、整理しました。コロナウイルスの 病気に なった人の 安心・安全のため、コロナウイルスの 病気が 広がった場合も、保健所からの 連絡は コロナの 病気に なったことが 分かった その日のうちに 行います。

コロナウイルスの 病気に なった人を 宿泊療養施設などに 送るとき、今は 保健所が 持っている車や 福岡県タクシー協会などに 協力してもらって、車を 用意しています。しかし、これから 宿泊療養施設から 病院へ 入院することや 夜に 病院へ 連れていくことが 難しくなるかもしれないので、新しく 民間救急による 移送(病院へ 連れて 行ったり、宿泊療養施設から 病院へ 送ったり すること)を 始めます。

コロナウイルスの 病気に なった人の ための 病院の ベッドは、これから コロナウイルスの 病気が 広まったときに 必要とされる 1,460個よりも多い 1,482

個をすでに用意できています。これからも、必要なベッドの数を用意していきます。

また、酸素投与ステーション(コロナウイルスの病気になった人に酸素を与えるための施設)は最大200個を用意することを目指します。

病院に入院しないでコロナウイルスの病気を治すために、新しい施設を11施設・2,234部屋を用意しています。これから、12施設の2,400部屋を用意することをめざします。また、用意しているすべての施設に医者や看護師が24時間います。

コロナウイルスの病気になった人を観察するための項目をまとめたクリティカルパスを新しく取り入れることを考えています。

コロナウイルスの病気が広まったときは家で治療する人が増えるかもしれないので、家で治療する人が行ける病院を1,000個用意しています。また、コロナウイルスの病気が重くなるのを防ぐ薬が病院で使えるようになったときに、地域の病院などで病気の人に渡すことができるようにしていきます。家で治療する人の同意をもらった上で、希望する市町村へ連絡先などの情報を共有するなど、市町村ともっと協力して家で治療する人の生活を支援していきます。